

質疑欄

【八】拜啓左記の事御高教奉願候(五)

1、舊曆の朔は新月の起る日に御座候や

2、某日午前十時に新月起る時は 23/24 日

0.96 が其の前日の月齢となんべくや。

此の時、舊曆の朔は其の日に御座候や、

其の前日に候や。

3、結局、月齢と朔との關係は如何に御座候哉。

(答) 1、さうです

2、3、月齢とは朔から其の時までに経過した日数です。某日午前十時に新月ならば、其の時、月齢〇、午前十一時には、

1/24 = 0.04 以下同様です。「其の前日の月齢」とは意味不明ではありませんか。

又其の「某日」が朔です。

【九】次の條々御高教を仰ぎたく候(五)

1、夜明、日暮——俯角七度二分四〇秒は何から出したものですか。

2、月の出入りだけは何故月の中心を取りますか

(答) 1、さうきめたのです。(明治五年以前の明六つ暮六つに相當するものとして)

2、月は盈虚があつて、上端が必ずしも光つて居るとは限りません。(三日月など考へて御覽なさい)ですから便宜上、

月面の中心を採るのです。細かいことを計算したいならば、できないこともありません。

【一〇】英文でかいた天文の書籍。(あまり學術的でないのを素人として好みます)星に關する傳説を書いたもの(英文)(近頃手に入れたギリシヤ神話で少しく知りまして、たれと物たりないと思ひました(宮生)圖書館でもしらべて頂くより仕方ありません。學術的でなくてごんなのがよろしいか、一寸わかりにくくて困ります。星に關して一貫して傳説を書いたものは知りません。

Myths and Marvels of Astronomy 云ふ名のもを聞いては居りますが、實物見ませんで不明です。G. P. Garnett: Astronomy with the naked eye. 1908 に

は一寸ありますが、大體一月氏「趣味の天文」位のものですし R. H. Allen: Star names and their Meanings. 1899 も多少それに近い方ですが、さても御希望に副はしないでせう。

同好會報

●山本幹事外遊のこと

文部省在外研究員として、わが山本助教が近々歐米に派遣せられることが、既に決定した模様である。ついで天文同好會は全體としての管理經營上及び運轉上、大打撃の無いやう慎重に考へなければならぬ。助教の外遊は約二ヶ年であるが同好會としてしては、今最も重要な時である。幸ひに編輯上は新たに荒木氏が加はり、又、新進の西堀氏が實際觀測に活躍し、中村氏亦今や全く病氣より回復した。それに今秋からは水澤の上田理學士が京都に轉ぜられる筈であるから、山本氏の不在中も大して心配はいらないと思ふが、しかし、さにかく前號にも斷つた通り、カトエイ望遠鏡の御世話に中止する。

●第二回岡山講習會

一、場所。岡山市山下、岡山市立商業學校。

二、期間。大正二年六月十日(火星の衝當日)午後八時から翌十一日午前十一時迄徹夜觀測

三、題目及び講師。火星及びその觀測。

四、會費金壹圓五拾錢也。

五、申込所。大正十年六月五日迄に往復ハガキで、岡山市門田二十一番地天文同好會岡山支部宛で申込んで下さい。

大正十一年五月

主催 京都天文彙内 天文同好會